

たむぎやま

「ホテル観賞会に参加して」

桜井 栄子(長兵工)

七月二日(土)、いきいき田麦山主催の「ホテル観賞会」に参加しました。まだ明るい七時に公民館へ集合、ビール片手にホテル公園へ移動しました。一本飲み終わる頃いきいき屋台(焼き鳥)に迎えられ到着。二本目を飲みながら、暗くなるのを待ちました。水落達也さんから、平家ホテルと源氏ホテルの違い(光り方・エサなど)や平家ホテルと源氏ホテルが共生している田麦山はとても珍しいという事を教えて頂き、大谷内総代の森山鉄也さんからは大谷内地域の方からホテル公園の草刈り・整備をして頂いている事を教えて頂きました。真つ暗闇の中心滅する無数のホテルの光と川のせせらぎの音がとても心地よく、参加者(三十一名)からは『わあーきれい!!』と歓声が上がりました。これぞ『田麦山の宝です!』皆さんも、ホテル公園に出掛けてみませんか?



平成 23 年
7月20日発行

新潟県
田麦山地区館

夢

大形 タカハシ 高橋 直之

ぼくの夢は、歯科医師です。理由は小さいとき、歯医者で、むし歯を治してもらい、すごいと思ったからです。歯科医師になるには、大学を卒業し、試験に合格しないといけないし、人と、コミュニケーションを、とらなければなりません。ぼくは勉強は苦手だし、人と話すことも苦手なので、今の学校生活で苦手をこくふくしていきたいと思えます。



お盆からお祭りの行事お知らせ

◎第五回ブナ林コンサート 八月十四日 十二時三十分
公民館集合で移動

◎ふれあいソフトボール大会 八月十五日 八時三十分
公民館グラウンド

◎熊野神社祭礼子供みこし 八月十六日 十二時三十分
地区内巡回

◎熊野神社祭礼涼み茶屋 八月十六日 十八時開店
境内付近

田麦山Aコープ店何とかしたいもの

田麦山住人

田麦山Aコープ店が、来年の一月で閉店すると聞いています、このままでいいのでしょうか。

一年に一歳、地区の平均年齢が上がり、限界集落、私も含め買物難民が発生することは明らかです。簡易郵便局も無くなり簡単な振替や荷物の取り扱えもなくなります。

閉店はJAだけの問題でなく地区とし協議会を中心にどうするか考えて欲しいものです。



『コロンブスと金子みすゞの共通点』

佐藤 榮吉

掲題は私の勝手なこじつけですが：(笑)
アメリカ大陸を発見したと言われるコロンブスと、今また話題の金子みすゞの共通点は？といわれてもピンと来ないでしょうが、答えは、

「誰もが日ごろ気づかなことにハッと気づかされる」

コロンブスはご承知のように(大陸発見は誰にでも出来る、と評されたコロンブスが、卵を立てることを試みさせ、一人も出来なかった後に卵の尻をつぶして立てて見せたという逸話から)誰でも出来そうなことでも、最初に行うことは難しいということの例え。

一方、おもむきは違いますが、金子みすゞの詩には、まさに「誰でもが気づかなかったことにハッと気づかされる」ことが原点に流れていると思います。

私が両手をひろげても お空はちっとも飛べないが
飛べる小鳥は私のように 地面(じべた)を早く走れない
私が体をゆすつても きれいな音はでないけど
あの鳴る鈴は私のように たくさんの歌は知らないよ
鈴と、小鳥と、それから私、
みんなちがって、みんないい

それぞれが別々で、でもそれに優劣は無いことを(人間の世界にも通じる)それぞれが素晴らしいのだということを見事に表現した詩ですが、この詩は、田麦山にも縁の深い朗誦女優の小口ゆい様が、いろんな公演で金子みすゞの詩を朗読されているので記憶されている方も多いでしょうし、東日本大震災後のテレビでも

「遊ぼう」っていうと「遊ぼう」っていう

「ばか」っていうと「ばか」っていう

「もう遊ばない」っていうと「もう遊ばない」っていう
そうして、あとでさびしくなっって

「ごめんね」っていうと「ごめんね」っていう
こたまでしようか、いいえ、誰でも

と毎日のように、金子みすゞの詩が流れていましたね。最近放映されている詩では、

子どもが子すずめ つかまえた。
その子のかあさん わらってた。
すずめのかあさん それみてる。
お屋根で鳴かずに それ見てた。

雀からみれば人間はあまりにも大きくて、小さな雀はかなわない。だから(せつなくても)黙ってみているしかなかった、のでしよう。

今回の震災でも被災地の方々の我慢強さ、優しさ、絆の深さ、他人への思いやり等々、そして献身的に支援する人々の姿が内外のメディアで絶賛されていますが、七年前の田麦山の方々の様子がダブリます。

日本人魂の源流には、金子みすゞの詩にあるような、奥深い優しい視点が流れているのだと思います。
それにしても、二十六年という短い生涯かつ不遇の人生を歩んだ童謡詩人の作った詩が、世情不安定な現在の日本で、毎日のようにテレビ・ラジオで放送され癒している…なんとも不思議なことですね。

追伸 (金子みすゞ)をはるか以前に先取りして、その素晴らしい作品を田麦山で披露して頂いた、小口ゆい様に敬服!

それにしても、冒頭に出たつきりてコロンブスはどこへいったんでしよう(笑)

農家民泊を実施して 桜井 美沙子 (文造)

六月八日から二泊三日の日程で東京都立川国際中等教育学校二年生の女子四名を農家民泊として受け入れました。

初めはどんな娘が来るんだろうか?何を食べさせれば喜んでもらえるか?ワクワクドキドキ…。いよいよ対面に。物おじしない明るく可愛いらしいお嬢さん達ですぐに家の娘達とも仲良くなりました。夜に今年初の花火大会をし楽しみました。暑さにもかかわらず農業体験にはイヤな顔せず一生懸命がんばってくれました。四人共、たんぎやまファン・。になったそうです。最終日制服姿で帰って行く時にはさみしさを感しました。また田麦山に遊びに来て欲しいなと思っております。



〈おおくやみ〉

七月一日 内山 三重さん

(大谷内 庄右工門) 九四歳
謹んで「冥福をお祈りいたします」。

編集後記

梅雨も明けて暑い夏がやってきました。体調管理に注意して下さい、節電も大事ですが熱中症にはくれぐれも注意し、無理をしないでこの夏を乗り切りましょう。

